

○ 福島県動物愛護管理推進計画の進行管理について

県は、動物愛護管理に関わる各施策について、成果目標として9つの代表指標を設定しています。この代表指標については、それぞれに「中間目標」及び「最終目標」として数値目標を定め、事業達成度の評価をすることにより計画の進行管理を行い、5年毎に計画の見直しを図っています。

【各施策の代表指標と数値目標】

代表指標	基準値 (H18年度実績)	中間目標 (H30年度目標)	R2年度 実績	R3年12月末 実績(参考)	最終目標 (R5年度目標)
① 犬の引取り数	944頭	400頭 以下	121頭	117頭	200頭 以下
② 猫の引取り数	4,031匹	2,000匹 以下	2,393匹	1,311匹	2,000匹 以下
③ 狂犬病予防注射実施率	75%	100%	69.5%	72.4%	100%
④ 犬の捕獲頭数	2,229頭	850頭 以下	492頭	308頭	450頭 以下
⑤ 犬の苦情件数	3,521件	1,500件 以下	895件	658件	950件 以下
⑥ 犬の殺処分数	2,589頭	600頭 以下	147頭	88頭	120頭 以下
⑦ 猫の殺処分数	4,014匹	2,000匹 以下	1,893匹	977匹	1,600匹 以下
⑧ 動物愛護ボランティア 登録者数	262名	400名	370名	370名	500名
⑨ 動物取扱業施設(特定 動物飼養施設を含む)に おける違反件数	0件	0件	0件	0件	0件

○ 9つの代表指標の令和2年度実績について

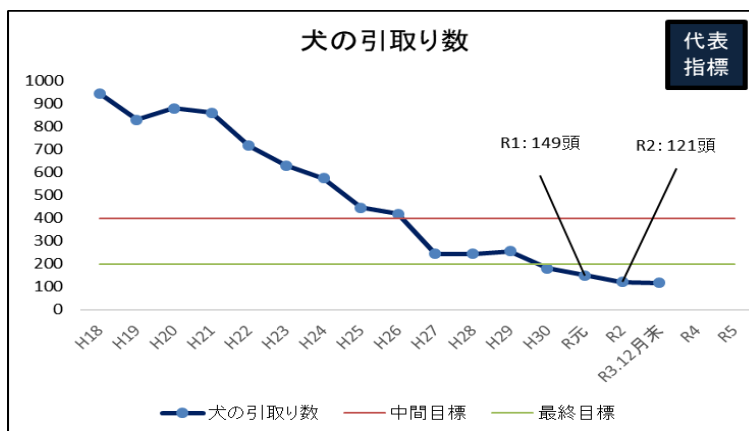
代表指標

① 犬の引取り数

【R2年度の実績】

前年度と比較して、犬の引取り数は減少し、特に、終生飼養の普及啓発により、飼い主の意識の向上が図られ、所有者からの引取り数は、約半分に減少した。一方、野犬の子等の引取り数はやや増加した。

動物愛護センター	71
〃 会津支所	9
〃 相双支所	7
福島市保健所	3
郡山市保健所	8
いわき市保健所	23
県全体	121頭



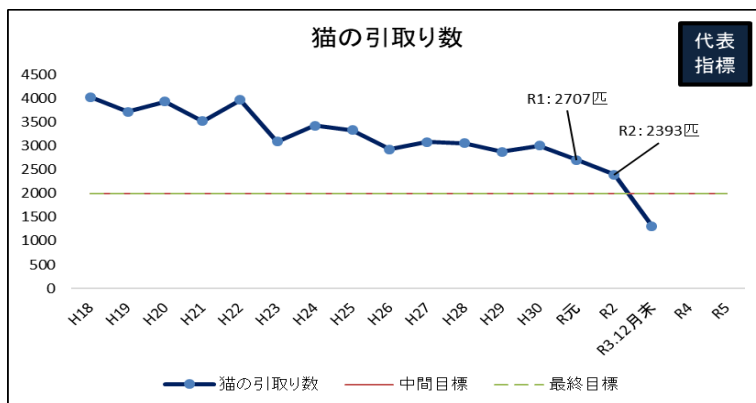
代表指標

② 猫の引取り数

【R2年度の実績】

令和2年6月からの所有者の判明しない猫の引取り拒否の運用により、前年度と比較して、猫の引取り数は減少したが、一方で、多頭飼育崩壊により所有者から引取るケースが複数件あり、中には100匹を超えるケースもあった。

動物愛護センター	695
〃 会津支所	503
〃 相双支所	408
福島市保健所	295
郡山市保健所	249
いわき市保健所	243
県全体	2,393匹

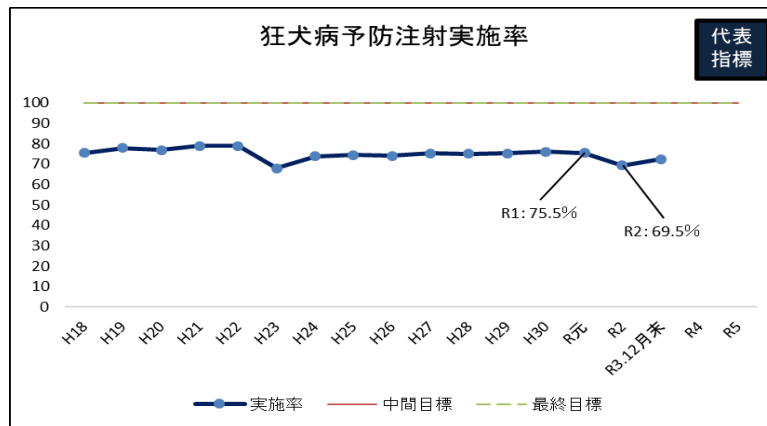


代表指標

③ 狂犬病予防注射実施率

【R2年度の実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの市町村が集合注射の実施を見送ったことから、例年より低い実施率となった。



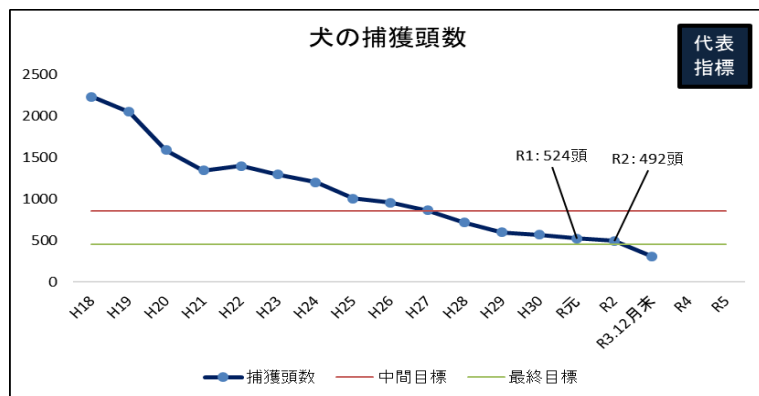
代表指標

④ 犬の捕獲頭数

【R2年度の実績】

適正飼養の普及啓発により、犬の飼い主の意識の向上が図られ、放し飼いや迷い犬による捕獲頭数が減少した。

動物愛護センター	213
" 会津支所	44
" 相双支所	50
福島市保健所	37
郡山市保健所	68
いわき市保健所	80
県全体	492頭



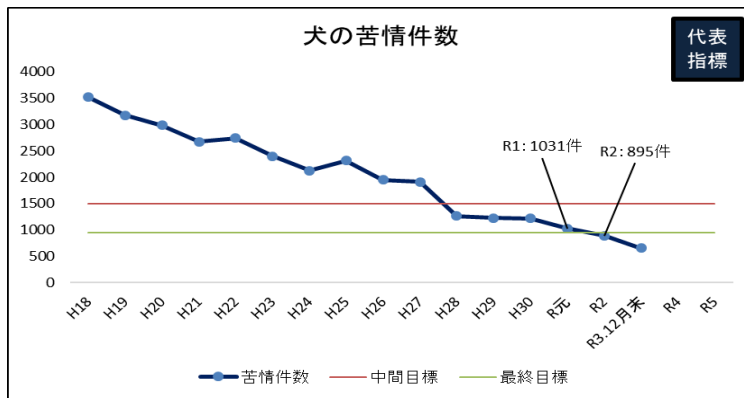
代表指標

⑤ 犬の苦情件数

【R2年度の実績】

前年度と比較して苦情件数は減少しているが、依然として、糞害や鳴き声など生活環境に影響する内容の苦情が多く寄せられた。

動物愛護センター	333
" 会津支所	112
" 相双支所	86
福島市保健所	52
郡山市保健所	123
いわき市保健所	189
県全体	985件



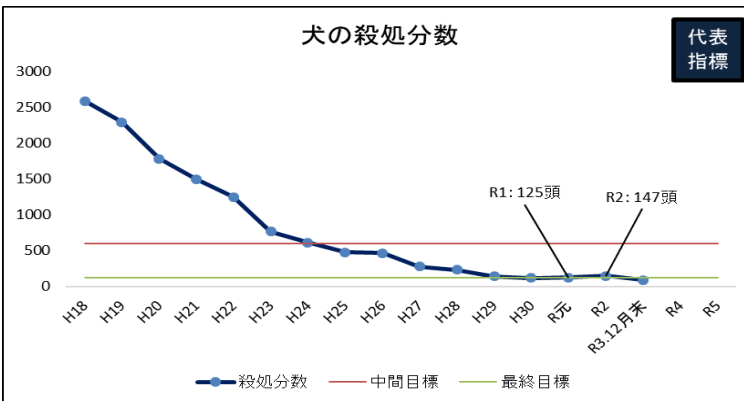
代表指標

⑥ 犬の殺処分数

【R2年度の実績】

攻撃性や健康上の理由から譲渡不適になる個体が多かったことから、殺処分数は若干増加した。特に、所有者の判明しない犬として引取りした子犬については、人とのふれあいが全くないことから攻撃性が強く、また、皮膚病等の健康上の理由から多くが殺処分せざるを得ない状況であった。

動物愛護センター	101
" 会津支所	7
" 相双支所	8
福島市保健所	3
郡山市保健所	6
いわき市保健所	22
県全体	147頭



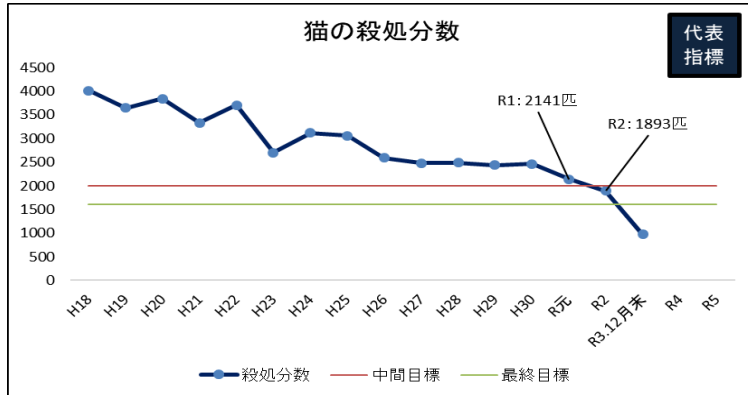
代表指標

⑦ 猫の殺処分数

【R2年度の実績】

所有者の判明しない猫の引取り拒否の運用により、猫の引取り数が減少したことから、殺処分数についても前年度と比較して減少したが、多頭飼育崩壊で引取りした成猫については、攻撃性や健康上の理由からほとんどが殺処分せざるを得ない状況であった。

動物愛護センター	578
〃 会津支所	440
〃 相双支所	359
福島市保健所	178
郡山市保健所	132
いわき市保健所	206
県全体	1,893匹



代表指標

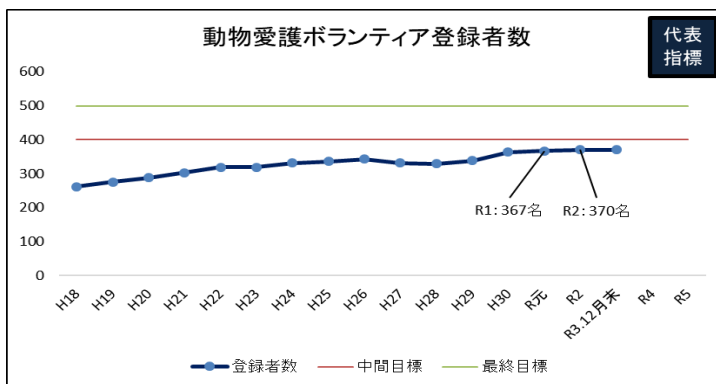
⑧ 動物愛護ボランティア登録者数

【R2年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催した講習会[※]により、3名が動物愛護ボランティアに登録し、累計の登録者数は370名となった。

※動物愛護ボランティア育成講習会

※中核市は当該事業なし

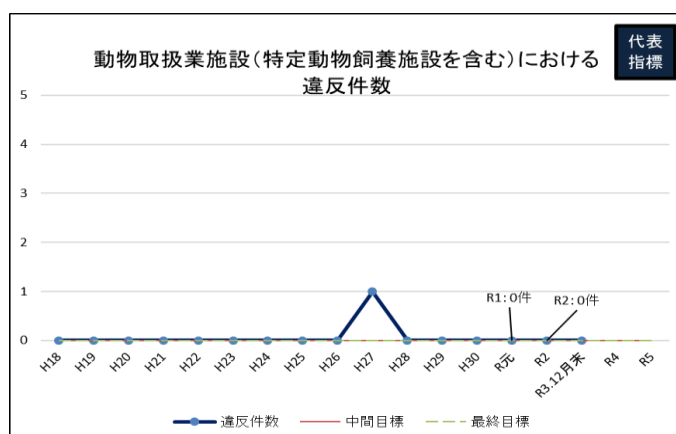


代表指標

⑨ 動物取扱業施設(特定動物飼養施設を含む)における違反件数

【R2年度の実績】

動物取扱業施設及び特定動物飼養施設において、動物愛護法に違反する事案はなかった。



○ 動物愛護関連事業の令和2年度実績

		基準値 (H18年度実績)	R2年度 実績	R3年12月末 実績(参考)
犬及び猫の譲渡事業	犬の譲渡数	179頭	166頭	134頭
	猫の譲渡数	17匹	465匹	336匹
飼い犬等のしつけ方教室 (猫の飼い方講習会含む)	開催回数	56回	23回	15回
	受講者数	656名	200名	193名
小学校への獣医師派遣事業	開催回数	56回	30回	49回
	受講者数	2,571名	1,079名	1,653名
動物取扱業者監視率		100.0%	28.9%	38.0%
特定動物飼養施設監視率		100.0%	108.5%	95.2%
動物取扱責任者研修会	開催回数	8回	0回	0回
	受講率	72.0%	-	-
動物愛護ボランティア養成講習会	開催回数	3回	2回	0回
	受講者数	19名	3名	0名

犬及び猫の譲渡事業

【目的】

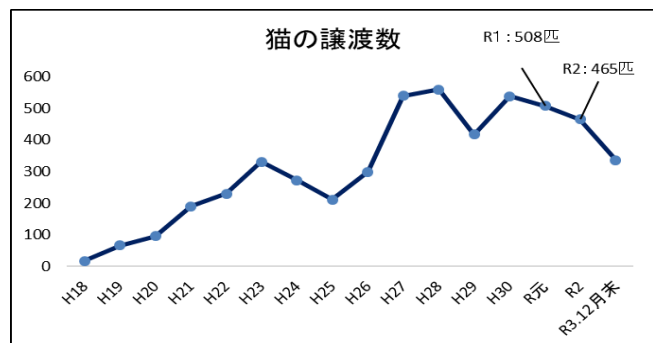
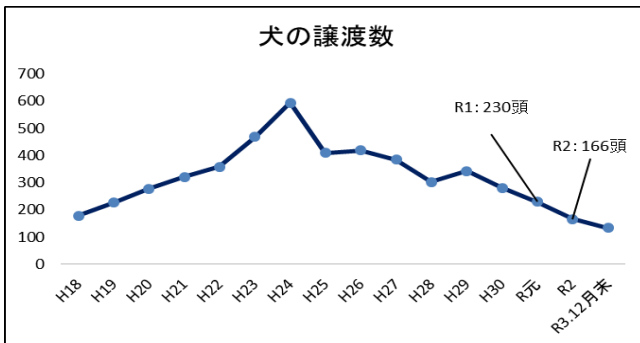
動物愛護センター(支所を含む)や中核市保健所に收容された犬及び猫に、生存の機会を与え犬等の殺処分率の削減を図ることを目的とする。

【令和2年度の実績】

性格や健康状態及び発育段階など、譲渡に適する犬猫の收容が少なかったため、結果的に、譲渡数は前年度と比較して減少した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定期的な譲渡会の開催を控えたことも影響していると思われる。

	犬	猫
動物愛護センター	79	117
〃 会津支所	15	68
〃 相双支所	8	14
福島市保健所	10	115
郡山市保健所	14	114
いわき市保健所	40	37
県全体	166頭	465匹



飼い犬等のしつけ方教室(猫の飼い方講習会含む)

【目的】

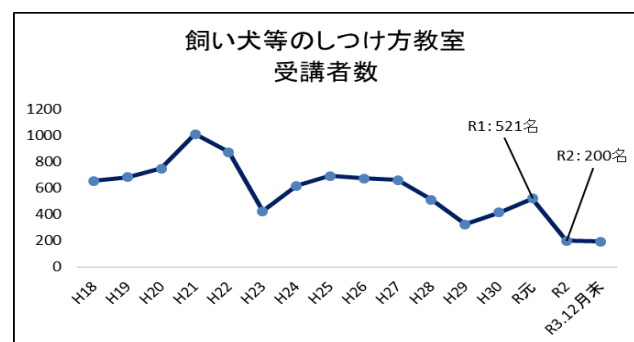
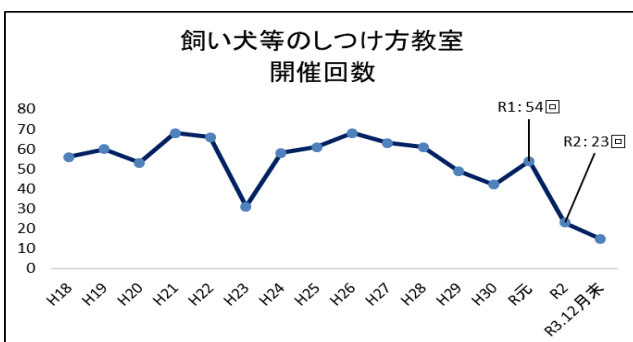
犬等の飼い主にしつけの方法や飼養管理に関する知識、その他必要な事項を習得させることにより、人と動物の調和ある社会の実現をめざすことを目的とする。

【令和2年度の実績】

新型コロナウイルス感染拡大症の影響により、開催中止や開催を予定しても申込がなかった等の結果、開催回数及び受講者数ともに前年度と比較して減少した。

	飼い犬等のしつけ方教室			猫の飼い方講習会	
	学科講習	実技講習	受講者数	実施回数	受講者数
動物愛護センター	2	2	24	—	—
〃 会津支所	3	—	9	—	—
〃 相双支所	1	1	2	—	—
福島市保健所	—	—	—	—	—
郡山市保健所	2	—	17	2	18
いわき市保健所	3	2	44	—	—
県庁食品生活衛生課	—	—	—	5	86
県全体	8回	30回	96名	5回	86名

総計 実施回数 23回
受講者数 200名

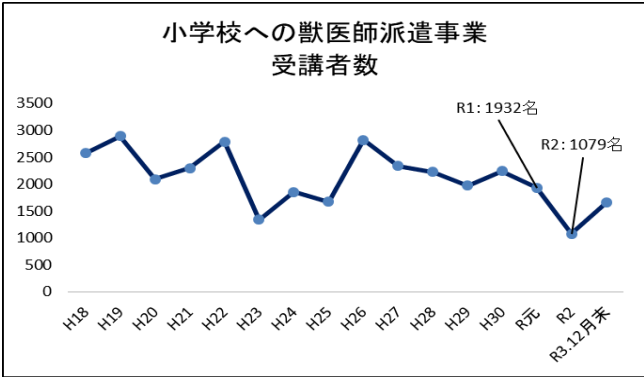
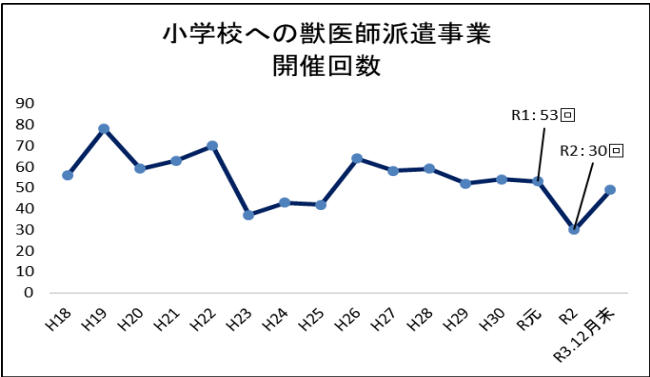


小学校への獣医師派遣事業

【目的】
小学生が動物についての学びや動物とのふれあいを通じて、自分と身近な動物との関わりに関心を持つとともに、命の大切さや相手を思いやる気持ちを育むことを目的とし、もって人にも動物にもやさしい社会の実現に資することを目的とする。

【令和2年度の実績】
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、15校の小学校で事業が中止になったことから、実施回数及び受講者数ともに前年度と比較して減少した。
※郡山市及びいわき市は当該事業なし。

	延べ実施回数	受講者数
動物愛護センター	19	723
〃 会津支所	4	115
〃 相双支所	4	173
福島市保健所	3	68
県全体	30回	1,079名

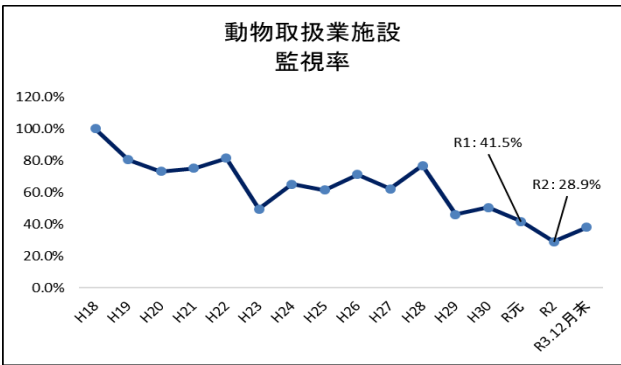


動物取扱業施設の監視指導

【目的】
動物取扱業施設における、設備構造や衛生管理、動物の取扱い方法等が、動物愛護法で定める基準を遵守しているか等を監視し、必要な指導を実施することにより、動物の愛護及び福祉の向上を図るとともに、施設周辺の生活環境の保全を図る。

【令和2年度の実績】
新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で監視を実施したが、対象施設が多く、計画的な施設への立入が困難であったことから、監視率は前年度と比較して低下した。

	対象施設数	延べ監視件数	監視率
動物愛護センター	142	42	29.6
〃 会津支所	69	43	62.3
〃 相双支所	46	8	17.4
福島市保健所	106	37	34.9
郡山市保健所	111	26	23.4
いわき市保健所	142	22	15.5
県全体	616件	178件	28.90%



※対象施設 第一種:593施設、第二種:23施設

特定動物飼養施設の監視指導

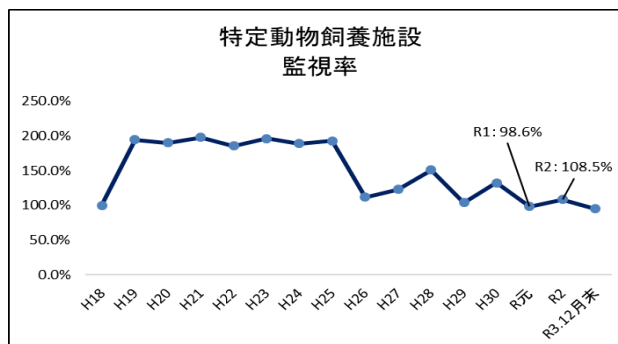
【目的】

特定動物(危険動物)飼養施設における、設備構造や衛生管理、動物の取扱い方法等について監視を実施し、特定動物による人の生命、身体への危害及び財産に対する侵害の防止を図る。また、動物の生態に配慮した飼養管理方法についても監視し、動物福祉の向上を図る。

【令和2年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で監視を実施し、動物の飼養管理及び施設の保守、安全管理等に問題がないことを確認した。

	対象施設数	延べ監視件数	監視率
動物愛護センター	49	49	100.0
〃 会津支所	10	21	210.0
〃 相双支所	1	1	100.0
福島市保健所	2	2	100.0
郡山市保健所	4	4	100.0
いわき市保健所	5	0	0.0
県全体	71件	77件	108.5%



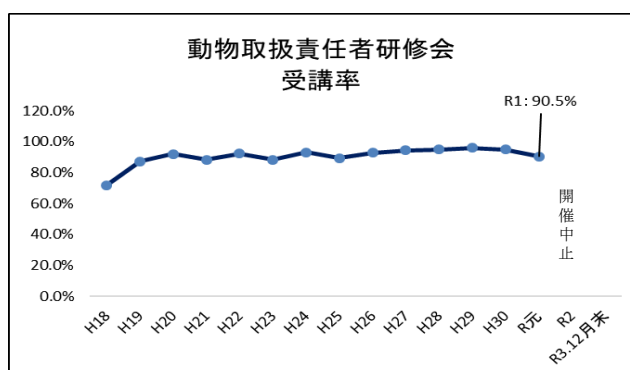
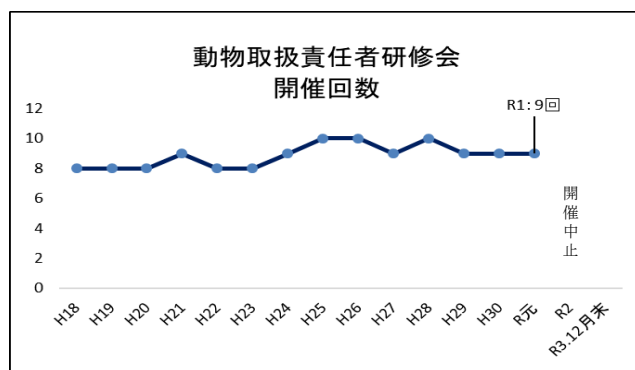
動物取扱責任者研修会の開催

【目的】

動物を取り扱う専門家としての自覚の醸成と社会的責任を果たせるように、動物取扱責任者を対象に、動物の取扱いに必要な知識及び能力に関する研修会を開催し、動物取扱業者全体の資質向上を図ることを目的とする。

【令和2年度の実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。



動物愛護ボランティア養成講習会

【目的】

飼い犬等のしつけ方教室の受講者等を対象に、動物愛護ボランティア養成講習会を開催し、地域における動物の愛護と適正飼養等を普及啓発する人材の育成を図る。

【令和2年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、動物愛護センターにおいて2回講習会を開催し、3名の受講者が動物愛護ボランティアに登録した。

※中核市は当該事業なし。

